



平成 21 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 21 年 1 月 15 日

上場会社名 株式会社ドトール・日レスホールディングス
 コード番号 3087
 代 表 者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星野 正則
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)木高 毅史

上場取引所 東証一部
 U R L <http://www.dnh.co.jp/>
 T E L (03)5459 - 9178

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 2 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 11 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21 年 2 月期第 3 四半期	79,206 (4.0)	7,277(4.1)	7,565(4.3)	4,851 (13.8)
20 年 2 月期第 3 四半期	76,128 ()	7,585 ()	7,902 ()	4,265 ()
20 年 2 月期	101,314 ()	10,004 ()	10,434 ()	5,453 ()

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
21 年 2 月期第 3 四半期	96 21	
20 年 2 月期第 3 四半期	84 50	
20 年 2 月期	108 07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 2 月期第 3 四半期	94,746	77,492	81.8	1,536 58
20 年 2 月期第 3 四半期	90,805	74,555	82.1	1,478 29
20 年 2 月期	91,158	75,493	82.8	1,496 94

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金		
(基準日)	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
20 年 2 月期		25 00	25 00
21 年 2 月期(予想)	13 00	13 00	26 00

3. 平成 21 年 2 月期の連結業績予想 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 21 年 2 月 28 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	104,500(3.1)	9,775(2.3)	10,162(2.6)	5,617(3.0)	111 38

4 . その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (D & N コンフェクショナリー(株)
除外 - 社
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4 . その他をご覧ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結会計期間(平成 20 年 3 月 1 日～平成 20 年 11 月 30 日)におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に起因する金融市場の混乱や株価の下落が、世界の实体经济にも著しい影響をもたらしたことから、景況感是一段と悪化しました。

外食業界におきましては、雇用環境が急速に悪化していることや個人所得の伸び悩み等から、消費者の生活防衛意識が高まり、外食への支出を控える傾向も見受けられました。

このような状況下、当社グループでは、「外食業界における日本一のエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ全体で 64 店舗(FC 店舗含む)を新規出店した他、メニュー開発やサービス向上など、既存事業の再強化を図りました。新たな取組みといたしましては、洋菓子製造卸部門の効率化・強化を図るために 100%子会社「D & N コンフェクショナリー」を設立しました。また店舗展開力と業態開発力など、グループのノウハウを結集し、新業態の開発や店舗運営などの事業展開を図る 100%子会社「D & N カフェレストラン」を平成 20 年 12 月 1 日に設立する等、次のステップへ飛躍できる基盤固めに努めました。

以上の結果、当第 3 四半期の連結業績は、売上高 79,206 百万円、営業利益 7,277 百万円、経常利益 7,565 百万円、純利益 4,851 百万円となりました。

(小売事業 レストラン部門)

日本レストランシステムグループ

商品政策面では、商品価値の向上に注力し、「先斗入ル」等の新メニューの開発を行う他、紅茶専門店「ザ・ダーズリン」、クイックパスタの「PASTA-YA」の新業態を開発しました。既存店売上高につきましては、消費者心理の悪化や当該期間中のガソリン価格の高騰もありロードサイド店舗の来客数が伸び悩み、前年を下回る結果となりました。店舗展開につきましては、「俵屋じゅう兵衛」や「麦とオリーブ」をロードサイド型店舗として初めて出店する等、立地を厳選して新規に 33 店舗を出店する一方、家主の事情等で 8 店舗を閉店いたしました。また、顧客の嗜好にあわせて 8 店舗を業態変更いたしました。

(小売事業 喫茶部門、卸売事業、その他事業)

ドトールコーヒーグループ

商品政策面では、ドトールコーヒーショップ創業以来の定番メニュー「ジャーマンドッグ」のリニューアルをはじめ、エクセルシオール カフェにおける「モーニングセット」の刷新など、「原点回帰～基本は常に進化する～」をテーマに、おいしさの追求に努めてまいりました。また、季節ごとのキャンペーンのほか、発芽玄米入り特製パンを使用したカンパーニュサンドや全粒粉入りパンを使用したパニーニなど、ヘルシーメニューを開発した効果により、既存店売上は前年を上回ることができました。

一般卸売上においては、ドリップやコーヒー原料の販路拡大に注力したほか、コンビニ向けチルド飲料の新商品を積極的に展開した結果、前年を大きく上回ることができました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産残高は新規出店に伴う固定資産の取得や差入保証金の増加等により 947 億 46 百万円となりました。負債残高は仕入債務や未払法人税等により 172 億 53 百万円、純資産残高は利益剰余金の増加等により 774 億 92 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計期間における業績の進捗状況や、外食業界における個人消費の急速な悪化等を踏まえ業績予想の見直しを行った結果、平成 21 年 2 月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4 . その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、経営資源の集約化を目的として平成 20 年 8 月に連結子会社「D & N コンフェクショナリー(株)」を設立いたしました。同社は、前期末における連結子会社「(株)マドレーヌコンフェクショナリー」と「日本レストランコンフェクショナリー(株)」から洋菓子類製造卸事業の譲渡を受け運営しております。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成20年2月期 第3四半期末	当四半期末 平成21年2月期 第3四半期末	増 減		(参考)前期末 (平成20年2月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	15,463	15,316	146	1.0	15,754
2 受取手形及び売掛金	5,479	6,139	660	12.1	5,596
3 有価証券	3,000		3,000		1,000
4 たな卸資産	1,883	2,132	248	13.2	1,902
5 繰延税金資産	939	782	156	16.7	760
6 その他	1,322	3,105	1,783	134.9	1,612
7 貸倒引当金	67	111	44	65.6	96
流動資産合計	28,020	27,365	654	2.3	26,529
固定資産					
1 有形固定資産					
(1)建物及び構築物	15,397	17,015	1,618	10.5	16,280
(2)機械装置及び運搬具	1,831	1,599	232	12.7	1,810
(3)土地	10,314	11,216	901	8.7	10,386
(4)その他	1,790	1,638	151	8.5	1,387
有形固定資産合計	29,334	31,470	2,135	7.3	29,865
2 無形固定資産	1,564	1,413	150	9.6	1,521
3 投資その他の資産					
(1)投資有価証券	7,038	9,905	2,867	40.7	9,752
(2)繰延税金資産	1,541	2,315	774	50.3	1,652
(3)敷金保証金	20,482	21,071	589	2.9	20,598
(4)その他	2,824	1,203	1,621	57.4	1,237
(5)貸倒引当金	0	0	0	19.4	0
投資その他の資産合計	31,886	34,496	2,610	8.2	33,241
固定資産合計	62,785	67,381	4,595	7.3	64,628
資産合計	90,805	94,746	3,940	4.3	91,158

科 目	前年同四半期末 平成20年2月期 第3四半期末	当四半期末 平成21年2月期 第3四半期末	増 減		(参考)前期末 平成20年2月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
1 支払手形及び買掛金	5,664	5,770	105	1.9	5,734
2 短期借入金	520	670	150	28.9	520
3 一年以内返済予定 長期借入金	264	22	242	91.7	127
4 未払法人税等	2,001	1,896	105	5.3	1,474
5 賞与引当金	1,378	1,478	99	7.2	889
6 役員賞与引当金	36	50	13	38.1	
7 その他	3,044	4,062	1,018	33.4	3,554
流動負債合計	12,911	13,949	1,038	8.1	12,299
固定負債					
1 長期借入金	60	38	22	36.3	55
2 退職給付引当金	953	1,049	95	10.0	978
3 その他	2,323	2,215	108	4.7	2,330
固定負債合計	3,338	3,303	34	1.0	3,364
負債合計	16,249	17,253	1,004	6.2	15,664
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金	1,000	1,000			1,000
2 資本剰余金	25,858	25,858	0	0.0	25,858
3 利益剰余金	48,348	52,466	4,117	8.5	49,537
4 自己株式	357	367	9	2.5	365
株主資本合計	74,849	78,958	4,108	5.5	76,030
評価・換算差額等					
1 その他有価証券 評価差額金	293	1,455	1,161	395.5	540
2 繰延ヘッジ損益		14	14		
評価・換算差額等合計	293	1,470	1,176	400.5	540
少数株主持分		4	4		3
純資産合計	74,555	77,492	2,936	3.9	75,493
負債、純資産合計	90,805	94,746	3,940	4.3	91,158

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成20年2月期 第3四半期	当四半期 平成21年2月期 第3四半期	増 減		(参考)前期 (平成20年2月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	76,128	79,206	3,077	4.0	101,314
売上原価	31,663	33,199	1,536	4.9	42,304
売上総利益	44,465	46,007	1,541	3.5	59,010
販売費及び一般管理費	36,879	38,729	1,849	5.0	49,005
営業利益	7,585	7,277	307	4.1	10,004
営業外収益					
1 受取利息	252	277	24	9.7	337
2 受取配当金	7	34	27	375.2	17
3 不動産賃貸収入	43	55	11	25.5	57
4 投資有価証券 売却益	1	5	4	216.0	2
5 その他	66	56	9	14.8	97
営業外収益合計	372	429	57	15.3	513
営業外費用					
1 支払利息	11	7	4	37.1	14
2 為替差損		56	56		
3 不動産賃貸費用	13	27	13	104.2	24
4 持分法による 投資損失		26	26		
5 その他	30	25	4	16.6	44
営業外費用合計	55	142	86	156.9	83
経常利益	7,902	7,565	337	4.3	10,434
特別利益					
1 退店補償金収入	23	229	206	866.5	72
2 固定資産売却益	5	1,226	1,220	22,111.9	5
3 投資有価証券 売却益	358	206	151	42.4	358
4 保険解約益	49	7	41	84.7	49
5 その他					18
特別利益合計	437	1,670	1,232	282.1	504
特別損失					
1 固定資産除却損	127	64	62	49.2	141
2 固定資産売却損	0		0		
3 投資有価証券 評価損		42	42		19
4 店舗閉鎖損	128	316	187	145.5	399
5 減損損失	283	160	123	43.4	298
6 経営統合費用	265		265		251
7 その他	36	55	19	54.1	155
特別損失合計	843	640	203	24.1	1,267
税金等調整前四半期 (当期)純利益	7,496	8,595	1,098	14.7	9,670
税金費用	3,230	3,741	511	15.8	4,217
少数株主損失		1	1		0
四半期(当期)純利益	4,265	4,851	586	13.8	5,453